

# 高梁川流域地域づくり連携推進事業 成果の合意書

事業名 : 障がい児の保護者の居場所づくりノウハウ移転事業～保育士×保護者支援マイ  
ンド～

グループ名 : カフェバード・プロジェクト

高梁川流域地域づくり連携推進事業は、高梁川流域市町に地域課題を解決するノウハウの拡がりを生み出すことを目的として実施するものである。

本事業の実施にあたり、倉敷市（以下「甲」という。）とカフェバード・プロジェクト（以下「乙」という。）は、目指す成果とそれを測る指標を以下の内容で合意する。また、乙は以下の実現を目指して事業を実施し、甲はその進捗状況を確認し、必要に応じて助言又は指導を行う。

## 1 ノウハウの拡がり（グループ参加団体間でのノウハウの拡がりに、どのような成果があるか）

### (1) 長期アウトカム（長期の成果）

目標	チカクのスタッフである保育士が、子育て支援の現場において、子どもの障がいの診断名の有無に関わらず、不安を感じる保護者を丁寧かつ適切にフォローすることにより、子どもが小さいうちからの細やかな子育て支援が実現する。
----	---

### (2) 短期アウトカム（平成30年度事業の成果）

目標	チカクの保育士は、保護者心理についての深い知見を得ることにより、保護者の気持ち以前より理解できるようになり、一層適切な保護者支援、保護者対応を行うことができるようになる。
指標	保護者への声かけの回数が増えた受講者数:現状0人→事業実施後10人 声かけによる保護者の変化を記録した受講者数:現状0人→事業実施後10人

### (3) アウトプット（平成30年度事業の直接の結果）

目標	一般社団法人チカクに対し、発達に不安のある子どもの保護者の居場所運営を通して蓄積した知識を、座学の形で伝える(1日実施)。
指標	受講者数:現状0人→事業実施後10人

目標	居場所担当となる予定の職員に対し「うさぎカフェ」での実習を通して保護者への具体的な接し方を学んでもらう(1日あたり2人×5日)。
指標	受講者数:現状0人→事業実施後10人

## 2 地域課題の解決 (イベント等に参加した住民に対して、どのような成果があるか)

### (1) 長期アウトカム (長期の成果)

目標	保護者にとっては、子どものことをよく知ってくれている保育士の先生が、最も身近な理解者・相談相手になってくれることにより、大きな安心感を得られる。チカクが関わる保護者は、以前よりも理解者の支えを感じながら安心して子育てできるようになる。
----	---

### (2) 短期アウトカム (平成30年度事業の成果)

目標	一般社団法人チカクが運営する子育て支援の現場において、障がいの診断名の有無に関わらず、子育てに特別な困難を抱えていたり、育児への不安・負担感の大きい保護者に対し、これまでのチカクの事業の枠組みを超えた集いの場所を提供する。
指標	1日居場所に訪れた保護者のうち「今回のような保護者の居場所ができれば利用しますか?」という問いに「はい」と答えた数:現状0人→事業実施後10人 1日居場所に訪れた支援者のうち「今回のような保護者の居場所ができれば、自分の知っている保護者に勧めますか?」という問いに「はい」と答えた数:現状0人→事業実施後10人

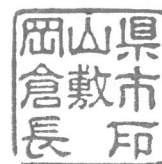
### (3) アウトプット (平成30年度事業の直接の結果)

目標	チカクが居場所を実施する予定の地域(早島町)で「保護者支援啓発講演会(または勉強会)」を、当法人とチカクの共催で、開催する。
指標	参加者数:現状0人→事業実施後50人

目標	チカクが実際に「1日居場所」を企画し、そこに法人メンバーが補助の形で入る。
指標	利用者数:現状0人→事業実施後8人

平成30年6月27日

甲 倉敷市西中新田640番地  
倉敷市  
倉敷市長 伊東香織



乙 倉敷市粒浦217-2  
カフェバード・プロジェクト  
NPO法人ペアレント・サポートすてっぷ  
理事長 安藤希代子

